横尾小学校便り

みがけ心、きたえ体

横尾っ子だより

令和４年度　第３号　R4.4.22（金）

～かしこく　やさしく　たくましく～

文責　校長　河野正勝

入学おめでとうございます。

８日（金）かわいい45名の新１年生が入学しました。とても緊張した様子で入学式を迎えた子どもたちですが、きちんと話を聞いたり、元気に挨拶や返事をしたりすることができました。

入学式では、新１年生に向けて、横尾小の自慢として広い運動場とたくさんの遊具があること、そして、元気に挨拶や返事ができる１年生になってほしいということを話しました。右に掲載しているのは、４月９日付けの長崎新聞の記事です。

それから、２ 週間が経ちました。歓迎集会・遠足があったり、給食が始まったりしていく中で、随分学校生活にも慣れてきました。

先生や友達と各教科の学習にも一生懸命に取り組んでいる姿が見られます。

入学式後の学活
［1 組担任（左）とやまつばき２組担任（右）］

入学式後の学活
［２組担任（右）とやまつばき５組担任（左）

入学式 夢を胸に新たな一歩

公立小

県内の多くの公立小学校で8日、入学式があり、新1年生が学びやの門をくぐった。長崎市横尾2丁目の市立横尾小（河野正勝校長）には45人が入学。新型コロナウイルス感染対策として、在校生は6年生だけ出席した。

新入生は、6年生が作った花のアーチをくぐって入場。新入生全員で声をそろえて「入学できてうれしいです。これからよろしくお願いします」とあいさつし、河野校長は「元気なあいさつと返事ができる1年生になってほしい」と歓迎した。

新入生の片岡友進君(6)は「友達とサッカーを楽しみたい」、金丸拓磨君(6)は「足し算と鉄棒を頑張りたい」と話した。

県教委によると、本年度は県内の公立小に約1万700人が入学した。（牧夕莉子）

新1年生1万700人

花のアーチをくぐって入場する新1年生＝長崎市立横尾小

やさしく、頼りになる６年生のお兄さん、お姉さんです。

入学式の翌日からは、朝から１年の教室に向かう６年生の姿が見られました。自分のパートナーの １ 年生を朝の準備を中心にサポートしています。昼休みも一緒に遊ぶ姿も見られます。１年生にとって、とても頼もしい存在です。

朝の準備ができたら、遊び相手や話し相手になってくれています。
６年生、ありがとう！